

KIJIMA ORIGINALPARTS
TECHNICAL SERVICE MANUAL



HONDA 2017y~ CBR250RR グリップヒーターKIT
<商品番号：304-81981>

【取扱説明書】



取付け前に必ずお読みください。

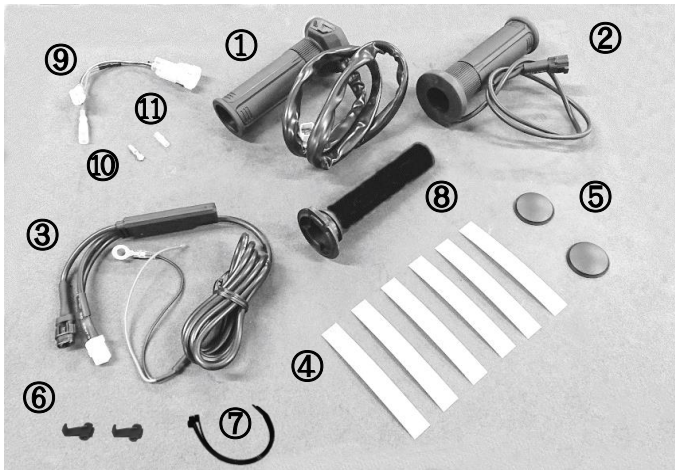
このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
 本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
 作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- 取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- 道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- 運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- 本取付け説明書に則った取付けを行う。
- 本製品への加工を加えない。
- 不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
 上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
 また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



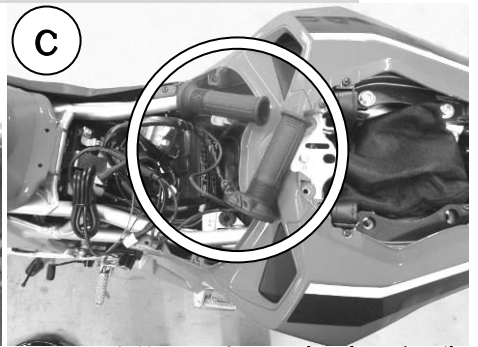
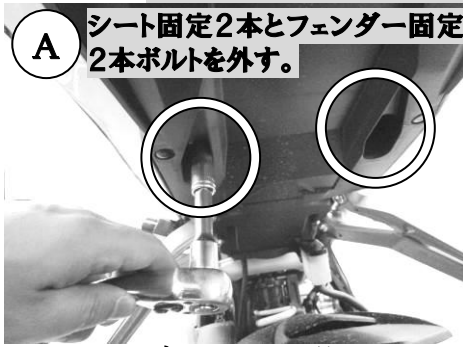
部番	品名	個数
①	左側グリップ	1
②	右側グリップ	2
③	電源ハーネス	1
④	アルミシール	6
⑤	グリップエンド	2
⑥	エレクトラタップ (使用しない。)	2
⑦	タイラップ	3
⑧	スロットルパイプ	1
⑨	ACC分岐ハーネス	1
⑩	オス ギボシ	1
⑪	オス スリーブ	1

..... 本製品取付けに当たっての注意点

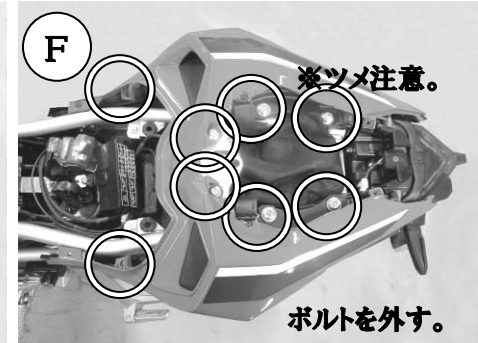
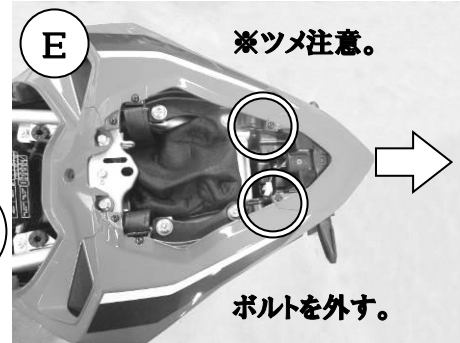
- ※本製品は、HONDA 2017y~ CBR250RR (2BK-MC51) に適合します。
- ※本製品は、純正 OP サブハーネス (08E00-K64-JA0) と併用可能です。
- ※本製品の取付けには、別売のグリップヒーター用ボンド (品番：30019) が必要です。
- ※本製品は、電子スロットルセンサーが精密な為、必ずディーラーやバイクショップでお取付け下さい。
- ※作業の前にエンジンやマフラーが冷えている事を確認して下さい。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行うと火傷の原因となり大変危険です。尚、作業中は、必ずメインキーをOFFにする事。作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。
- ※純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確실히行ってください。走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、異常箇所を点検して下さい。
- ※取扱い説明書は大切に保管し、本製品もしくは本製品を装着した状態で車両を譲渡などする場合は、この取扱い説明書も一緒にお渡し下さい。

<取付け方法>

本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。



- 1、タンデムシートを外し、フェンダー裏から純正ボルト4本を外し、シートを取外します。(写真A参照)
- 2、フェンダー裏のクリップを取外します。(写真B参照)
- 3、必ず、グリップ①/②/電源ハーネス③を接続し、バッテリーに接続して正常に作動するか確認して下さい。
※確認後、ヒーター類のカプラー接続を外し、バッテリーのマイナス線を外して絶縁します。(写真C参照)



- 4、ボルトを外し、サイドカバーを取外します。※反対側も同様に取外します。(写真D参照)
- 5、ボルトを外し、リアセンターカウルを取外します。(写真E参照)
- 6、各ボルトを外し、シートロック/リアサイドカウルを取外します。(写真F参照)



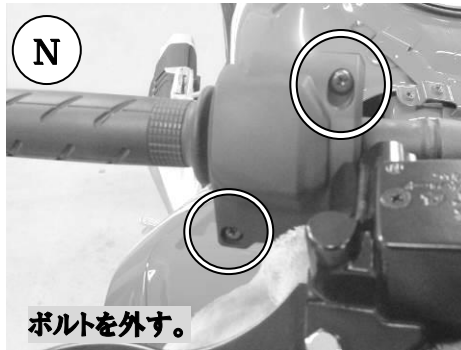
- 7、ボルトを外し、センターカバーを取外します。(写真G参照)
- 8、ボルトを外し、タンクカバー左右を取外します。(写真H参照)
- 9、ボルトを外し、ガソリンタンクを木端等で、持ち上げておきます。(写真I参照)



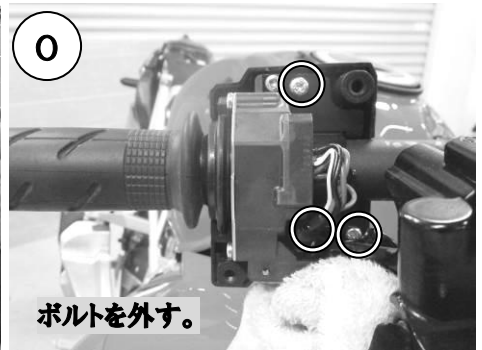
- 10、電源ハーネス③を車体に這わせませす。(写真J参照)
- 11、電源ハーネス③のプラス/マイナス線の束ねている部分を割いて、プラス線にオスギボシ⑩/スリーブ⑩をカシメる。(写真K参照)
- 12、ダミーキャップを外し、ACC分岐ハーネス⑨を接続し、そのプラス線とハーネス③のプラス線を接続します。ハーネス③のアース線はバッテリーのマイナスへ共締めします。(写真L参照)



レバーホルダーを外す。



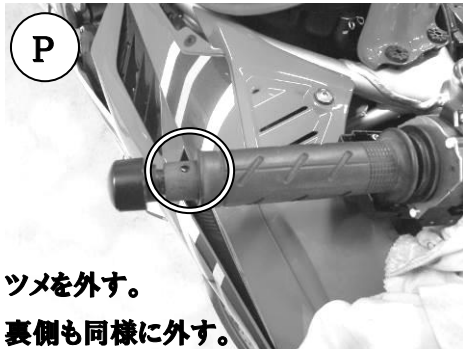
ボルトを外す。



ボルトを外す。

13、レバーホルダーを取外します。※マスターシリンダーは、地面水平に保って下さい。(写真M参照)

14、各ボルトを外し、スロットルホルダーと電子スロットルセンサーを取外します。(写真N/O参照)

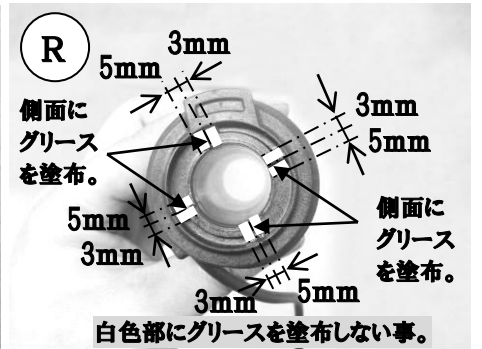


ツメを外す。

裏側も同様に外す。



リブ部を削る。



白色部にグリスを塗布しない事。(写真P参照)

15、バーエンド又は、バーウェイトを取外します。

※バーウェイトは、上下のツメを押して、外します。

16、スロットルパイプ⑧のリブ部を削ります。(写真Q参照)

17、グリップヒーターを一度接続し、温度をMAXの赤にして温めながら、右側グリップ②を圧入し、別売のボンドをスロットルパイプ⑧に塗布し固定します。※配線向き注意。(写真R参照)

18、スロットルパイプの内側とAPS側にも同様に側面のみにグリスを塗布します。

19、右側グリップ/スイッチBOX等を組み戻します。

20、純正バーウェイトをご使用の場合は、グリップエンド⑤は、使用しません。



配線確認。



タイラップで固定⑦



21、グリップ②を全開に回し、配線が引張られたり、引掛からないように取り回し、タイラップ⑦で固定して下さい。(写真S/T参照)

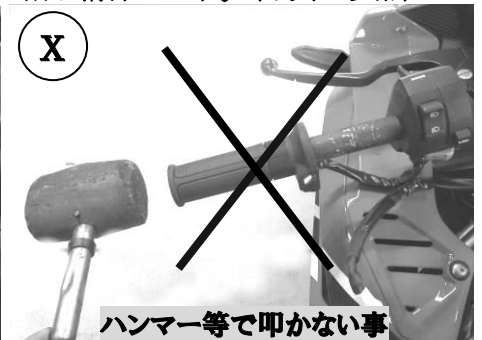
22、左側グリップ①も右側同様に装着する。※ハンドルにバリ等、無い様に削り清掃します。(写真U参照)



タオル等を巻いて、押し込む。



スイッチ部を押しながら、装着しない事



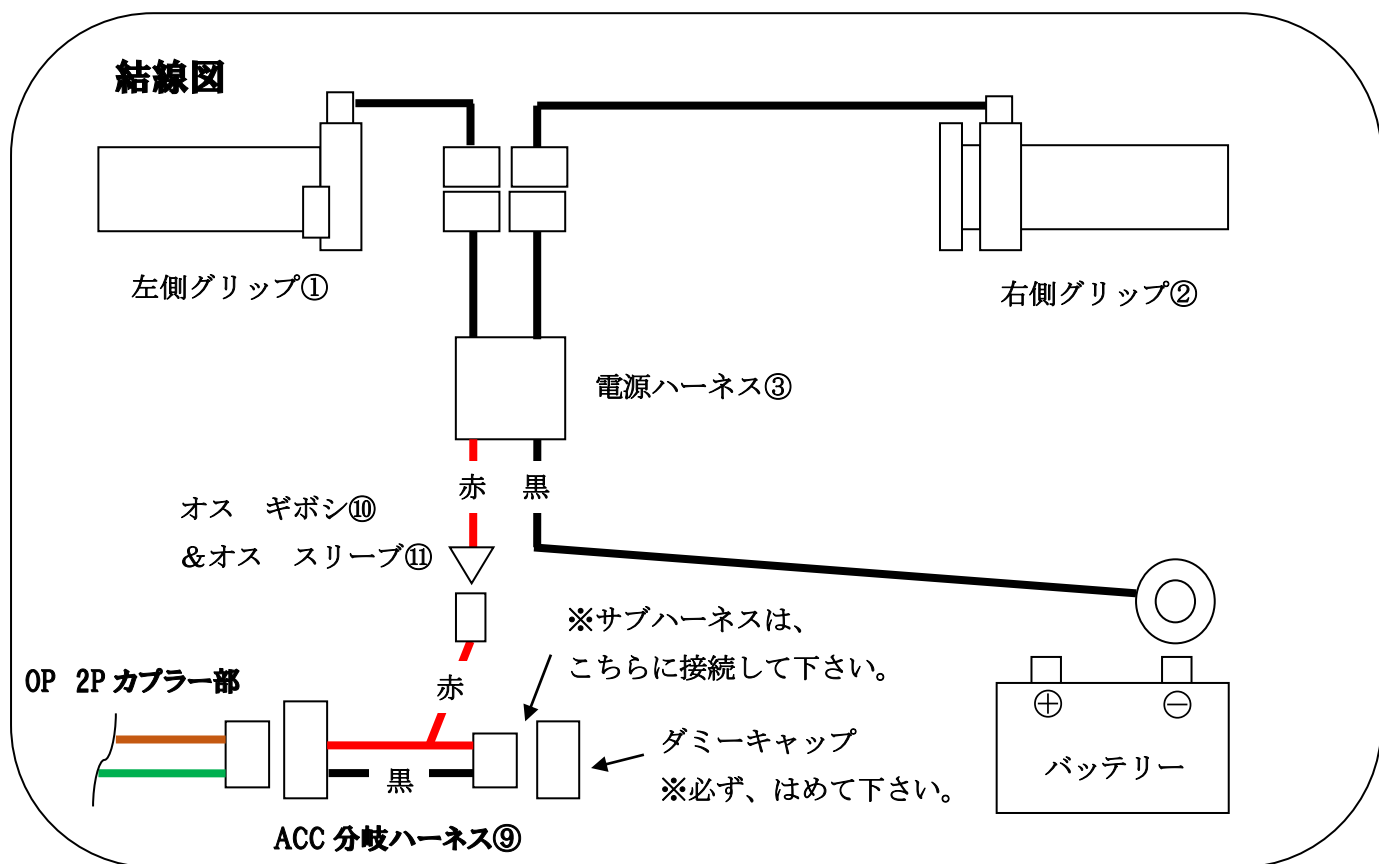
ハンマー等で叩かない事

23、上写真の注意点に気を付けて、各カプラーを接続し左グリップ①を温めながら装着する。

(写真V/W/X参照)



- 24、左グリップ①のスイッチ部がウインカー操作に影響する為、調整して取付け下さい。(写真X参照)
- 25、グリップヒーター①/②/③の配線を確認し、取り回しを行って再接続して動作確認をして下さい。
- 26、ハンドルを切った時などに配線を断線及び噛み込み引っ掛かり等が無いようにタイラップ⑦で固定して下さい。(写真Z参照)
- ※必要に応じて、別途タイラップ追加して固定して下さい。
- 27、すべて組戻して、完了です。



- ※付属のエレクトラタップ⑥は、使用しません。
- ※付属のアルミシート④は、ハンドルバーを削る等して、細くなってしまった場合にご使用下さい。
- ※必ず、定期的な締め付け確認を行って下さい。
- ※電気を消費する為、頻繁にバッテリーの電圧チェックを行って下さい。バッテリーの消耗しやすくなる為、消耗している場合は、新品に交換して下さい。
- ※他の電装品と併用する場合には、電気が引っ張られる場合がありますので、必ず単品でのチェックを行い、確認後、取付け下さい。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.ltd.

www.tk-kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138